

防災・安全ニュース

VOL. 28

危機管理課

2025年8月号

電話：65-1282

今年の夏も異常ともいえる暑い日が連続していますので、水分補給など体調管理には十分ご注意ください。

では、今月号もよろしくお願いいたします。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・ 別子大水害
- ・ 冠水した道路の車での走行
- ・ 南海トラフ沿いの地震に関する情報の公表

別子大水害

明治 32 年 8 月 28 日は、別子大水害が発生した日です。当日は、台風の影響で朝の小雨から午前中には大雨となり、当日の雨量が 325mm に達してそのほとんどが夜の 1 時間ほどで降り、暴風も吹く大荒れの天気だったそうです。しかし、午後 10 時頃に台風が日本海に抜け、11 時頃には月が見られる天候に回復したとのこと。

この時の水害によって、当時の別子山村内で 513 人、新居浜市側でも 54 人の犠牲者が出ました。

当時の別子山村の山の状況は、薪炭材^{しんたんざい}にするための樹木の切り倒しや鉱山による煙害の影響で「はげ山」が多くあって土石流を生み出しやすい環境だったそうです。これは、現在と山の環境が異なりますが、荒れた天気が 1 日に満たなくても、最近頻発する線状降水帯のように集中豪雨によって起こりうる災害の教訓として、平成 16 年災害とともに深く記憶し伝承していく必要があると思います。

平成 30 年度 講座「別子銅山を読む」（新居浜市立図書館 HP）



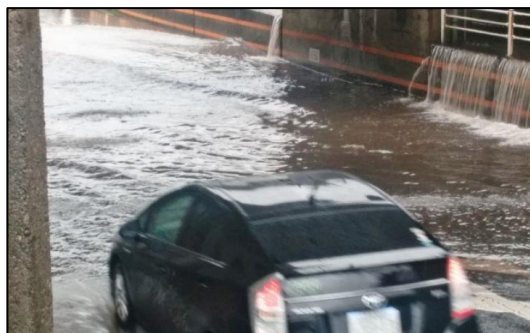
<https://lib.city.niihama.lg.jp/wp-content/uploads/2018/02/ad179a3cfa082143499230bdb2fcec87.pdf>

冠水した道路の車での走行

夏場から秋にかけては、台風や線状降水帯による集中豪雨などによって、冠水した道路を走行する車の映像をニュースなどでよく見かけます。また、新居浜市内にはアンダーパスがあり、大雨が降った時にはすぐに冠水する可能性があります。

車は、冠水深が10cmでブレーキが利きにくくなり、床面に達すると電気系統の故障やマフラーから浸水してエンジンが停止し再始動できなくなる可能性があります、タイヤ全体が浸水すると車体が浮いて移動が困難になる恐れがあります。

車を運転中に冠水している場所に遭遇したら、「えいやっ！」と突っ込んで行かず、愛車を守り自らも危険な状態にならないよう、迂回やUターンすることを考えていただければと思います。



※ JAFトレコラム

自動車冠水した道路を走行する場合に発生する不具合について
(国土交通省 HP)

→ <https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001317808.pdf>

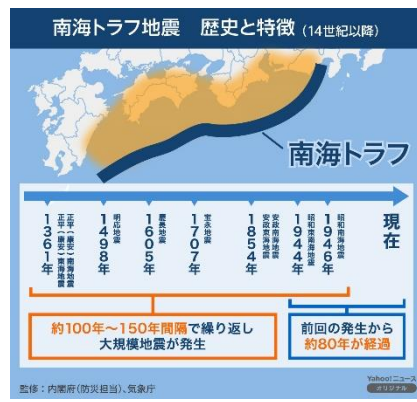
南海トラフ沿いの地震に関する情報の公表

気象庁の南海トラフ地震関連解説情報は、南海トラフ地震臨時情報で観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移を発表する場合に発表されることとなっていますが、ほかにも定期的に発表されているものがあります。

それは、毎月上旬に開催される「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表するものであり、通常、「地震の観測状況」、「地殻変動の観測状況」、「地殻活動の評価」について解説しています。

今年、今後30年以内の発生確率が70～80%から80%程度に引き上げられましたが、毎月の南海トラフの状態がわかる内容ですので

参考にしていいただければと思います。ただし、「現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に



に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。」と総括する表現がよく書かれていますが、**もともと突発的に発生することが常態ですので、あくまでも参考として安心することなく、日頃の備え（自助）をよろしくお願いいたします。**

※ 気象庁 HP

南海トラフ地震関連解説情報（気象庁 HP）

→ <https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

先月 30 日にカムチャツカ半島付近でマグニチュード 8.7 の大きな地震があり、太平洋側の広い範囲で津波警報が、愛媛県南予でも津波注意報が発表されて避難指示が発令されました。津波への対処は、素早く高い所へ逃げることで、津波注意報以上が発表されたならば、すぐに認知できるようなアプリをスマホへ入れておくなどの対応をしておいてください。

(N.O)